

津市監第58号
令和7年10月20日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員 小 津 直 久
津市監査委員 安 井 広 伸
津市監査委員 片 山 光
津市監査委員 安 積 むつみ

令和6年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定に基づき審査に付された下記の令和6年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見を津市監査基準（令和2年津市監査委員告示第3号）に基づいて審査したので、別添のとおり意見を提出します。

記

- 1 令和6年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 令和6年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 令和6年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

令和 6 年 度

榑 原 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和6年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和6年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和7年8月29日から10月17日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は2,554万7千円（表1参照）、歳出決算額は2,494万6千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、財産収入2,289万2千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和6年度				令和5年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	22,878	22,892	89.6	100.1	23,546	89.7	△ 654	△ 2.8
繰入金	0	0	0.0	0.0	884	3.4	△ 884	△ 100.0
繰越金	2,653	2,654	10.4	100.0	1,808	6.9	846	46.8
諸収入	2	2	0.0	100.0	3	0.0	△ 1	△ 33.3
計	25,533	25,547	100.0	100.1	26,241	100.0	△ 694	△ 2.6

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、財産費 1,927 万 9 千円、積立金 332 万 9 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和6年度				令和5年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	1,768	1,733	6.9	98.0	1,571	6.7	162	10.3
総 務 費	228	215	0.9	94.3	648	2.7	△ 433	△ 66.8
財 産 費	19,723	19,279	77.3	97.7	19,559	82.9	△ 280	△ 1.4
積 立 金	3,329	3,329	13.3	100.0	1,411	6.0	1,918	135.9
諸 支 出 金	400	390	1.6	97.5	398	1.7	△ 8	△ 2.0
予 備 費	85	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	25,533	24,946	100.0	97.7	23,587	100.0	1,359	5.8

2 財産に関する調書

財産の令和 6 年度中の増減高及び令和 6 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 6 年度末現在高は 1,226 万 3,927 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 6 年度中に 2,047 立方メートル増加し、令和 6 年度末現在高は 13 万 8,075 立方メートルである。

出資による権利については、令和 6 年度中の増減はなく、令和 6 年度末現在高は 84 万円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
土 地	公共用財産(その他の施設)	m ²	918	0	918
	山 林	直 営	2,389,071	90,865	2,479,936
		貸 付	9,873,937	△ 90,865	9,783,072
	合 計	m ²	12,263,927	0	12,263,927
立 木 の 推 定 蓄 積 量		m ³	136,028	2,047	138,075
出 資 に よ る 権 利		千円	840	0	840

(2) 物 品

物品は軽貨物自動車で、表 4 のとおり令和 6 年度中に増減はなく、令和 6 年度末現在高は 2 台である。

表 4 物品の状況

(単位：台)

区 分	令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
軽 貨 物 自 動 車	2	0	2

(3) 基 金

基金は榊原財産区財政調整基金で、表 5 のとおり令和 6 年度中に 332 万 9 千円増加し、令和 6 年度末現在高は 4,022 万 4 千円である。

表 5 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
榊 原 財 産 区 財 政 調 整 基 金	36,895	3,329	40,224

3 まとめ

令和 6 年度決算の状況を見ると、安定した土地貸付収入の範囲内で必要経費を賄うとともに、財政調整基金残高も増加しており、持続可能な財政運営を堅持している。

引き続き、計画的な森林区画の確認、林道整備等を進めるなど、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 6 年 度

河 内 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和 6 年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

令和 6 年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

令和 7 年 8 月 29 日から 10 月 17 日までである。

第 3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 33 万 5 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 27 万 7 千円（表 2 参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額は、繰入金 30 万 3 千円、繰越金 3 万円である。

表 1 歳入内訳表

(単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和6年度				令和5年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	予算比				
財 産 収 入	2	2	0.6	100.0	0	0.0	2	0.0
繰 入 金	497	303	90.4	61.0	225	89.3	78	34.7
繰 越 金	80	30	9.0	37.5	27	10.7	3	11.1
諸 収 入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	580	335	100.0	57.8	252	100.0	83	32.9

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、議会費 20 万 2 千円、総務費 5 万 5 千円である。

表 2 歳出内訳表 (単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和6年度				令和5年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	208	202	72.9	97.1	202	91.0	0	0.0
総 務 費	331	55	19.9	16.6	2	0.9	53	—
財 産 費	29	18	6.5	62.1	18	8.1	0	0.0
基金積立金	2	2	0.7	100.0	0	0.0	2	0.0
予 備 費	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	580	277	100.0	47.8	222	100.0	55	24.8

2 財産に関する調書

財産の令和 6 年度中の増減高及び令和 6 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、令和 6 年度末現在高は、土地が 13 万 278 平方メートル、建物が木造 1 棟 63 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 6 年度中に 346 立方メートル増加し、令和 6 年度末現在高は 2 万 5,190 立方メートルである。

表 3 公有財産の状況

区 分			単位	令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
土地	山	林	m ²	130,278	0	130,278
建物	河 内 公 民 館		m ²	63	0	63
立 木 の 推 定 蓄 積 量			m ³	24,844	346	25,190

(2) 基 金

基金は河内財産区財政調整基金で、表 4 のとおり令和 6 年度中に 30 万 1 千円減少し、令和 6 年度末現在高は 283 万 6 千円である。

表 4 基金の状況 (単位：千円)

区 分	令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
河内財産区財政調整基金	3,138	△ 301	2,836

3 まとめ

令和 6 年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の 90.4 パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 6 年 度

波 瀬 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和6年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和6年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和7年8月29日から10月17日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は67万1千円（表1参照）、歳出決算額は62万2千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、繰入金40万円、財産収入19万9千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和6年度				令和5年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	209	199	29.7	95.2	207	27.0	△8	△3.9
繰入金	449	400	59.6	89.1	450	58.7	△50	△11.1
繰越金	71	71	10.6	100.0	36	4.7	35	97.2
諸収入	1	0	0.0	0.0	72	9.4	△72	△100.0
計	730	671	100.0	91.9	766	100.0	△95	△12.4

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 49 万 2 千円、総務費 13 万円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和6年度				令和5年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	538	492	79.1	91.4	475	68.3	17	3.6
総 務 費	142	130	20.9	91.5	219	31.5	△ 89	△ 40.6
予 備 費	50	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	730	622	100.0	85.2	695	100.0	△ 73	△ 10.5

2 財産に関する調書

財産の令和 6 年度中の増減高及び令和 6 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 6 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 6 年度中に 1,985 立方メートル増加し、令和 6 年度末現在高は 13 万 8,504 立方メートルである。

出資による権利については、増減はなく、令和 6 年度末現在高は 58 万 6 千円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和 5 年度末現在高	令和 6 年度中増減高	令和 6 年度末現在高
土 地	宅 地	m ²	1,208	0	1,208
	雑 種 地 ・ 原 野	m ²	887	0	887
	山 林	直 営	1,006,356	0	1,006,356
		貸 付	1,184	0	1,184
	合 計		1,009,635	0	1,009,635
立 木 の 推 定 蓄 積 量		m ³	136,519	1,985	138,504
出 資 に よ る 権 利		千円	586	0	586

(2) 基 金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表 4 のとおりで、令和 6 年度中に 39 万 4 千円減少し、令和 6 年度末現在高は 1,059 万 4 千円である。

表 4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和5年度末現在高	令和6度中増減高	令和6年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	10,988	△ 394	10,594

3 まとめ

令和6年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の59.6パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。